

2025年7月1日

フジとエフピコが連携強化！ 食品トレー「ストア to ストア」で 地域のリサイクルを加速

株式会社フジ（本社：広島県広島市／代表取締役社長：山口 普^{やまぐち ひろし}、以下「フジ」）と株式会社エフピコ（本社：広島県福山市／代表取締役会長：佐藤 守正^{さとう もりまさ}、以下「エフピコ」）は、このたび、フジの480店舗にて、使用済み食品トレーを新しい食品トレーに生まれ変わらせる水平リサイクル（※1）「ストア to ストア」の取り組み連携を強化し、拡大いたしますので、ご案内申し上げます。

今回、両社は「地域社会の環境負荷を減らし、持続可能な社会の実現を加速させたい」という共通の思いのもと、協力関係をさらに深めることになりました。

フジの各店舗で集められた使用済み食品トレーは、すべてエフピコで資源として再生され、「エコトレー」等のエコ製品（※2）に生まれ変わり、再びフジの店舗で使われることで、「お店」と「お店」がつながる「ストア to ストア」の水平リサイクルが実現します。この取り組みを通じて、両社は2025年度に年間3,500t、2030年度には年間4,000tのCO₂排出量削減を目指し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

当社は、今後も企業と連携したサステナビリティの取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

【ストア to ストアの流れ】



（※1）リサイクル前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法。

（※2）「エコトレー」「エコAPET」「エコOPET」

株式会社フジ 経営企画部 広報・IRグループ

〒732-0814 広島県広島市南区段原南1丁目3-52 広島段原ショッピングセンター5階

TEL：082-535-8516 FAX：082-261-0056 URL <https://www.the-fuji.com/company/>

AEON

【ご参考】

1. 取り組みの背景

フジは「豊かなくらしづくりを提案し、地域社会の発展に貢献する」という企業理念のもと、地域に密着した経営を進めています。これまでも、省エネや資源の有効活用を通じて環境負荷の低減に取り組んできました。

一方、エフピコは長年にわたり「トレー to トレー」リサイクルのトップランナーとして業界を牽引しています。

今回、両社は「地域社会の環境負荷を減らし、持続可能な社会の実現を加速させたい」という共通の思いのもと、協力関係をさらに深めることになりました。

2. 目標数値

フジは2024年度に、使用済み食品トレーを885t回収しました。また、エコ製品の使用により3,407tのCO₂排出量削減に貢献しました。

今回の協業により、以下の目標達成を目指します。

● 2025年度：

- ・ 用済み食品トレー回収量：1,000t
- ・ CO₂排出量削減目標：年間3,500t

● 2030年度：

- ・ 用済み食品トレー回収量：1,200t
- ・ CO₂排出量削減目標：年間4,000t

フジとエフピコは、「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、リサイクルを通じて地域の環境を守り、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

<株式会社フジ>

広島県広島市に本拠を置き、中国・四国・兵庫エリアに店舗を展開するスーパーマーケットです。地域の豊かなくらしづくりの実現を掲げ、チェーンストア業をスタート。フジは地域に寄り添い、地域社会の発展とそこでくらす人々の豊かで幸せなくらしづくりに貢献する企業を目指しています。

所在地：〒732-0814 広島県広島市南区段原南一丁目3番52号

代表者：代表取締役社長 山口 普

設立：1967年9月12日

HP：<https://www.the-fuji.com/company/>

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレー to トレー」「ボトル to 透明容器」による地上資源の循環及びCO₂排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地：〒163-6036

東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者：代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設立：1962年7月24日

HP：<https://www.fpc.co.jp/>

<みんなでリサイクル> [エフピコ みんなでリサイクル](#) | [株式会社エフピコ](#)